

お宝発見！びっくり仰天！

先生みーつけた？



加藤 壮一郎

KATO, Soichiro

生物科学専攻 助教 [発生生物学・生物物理学]

Character Point !!

学生時代の部活：陶芸部

好きな食べ物：豚汁

趣味・休日の過ごし方：ピアノを弾く / 工作をする / 自転車に乗る

加藤グループ（進藤研）の研究紹介

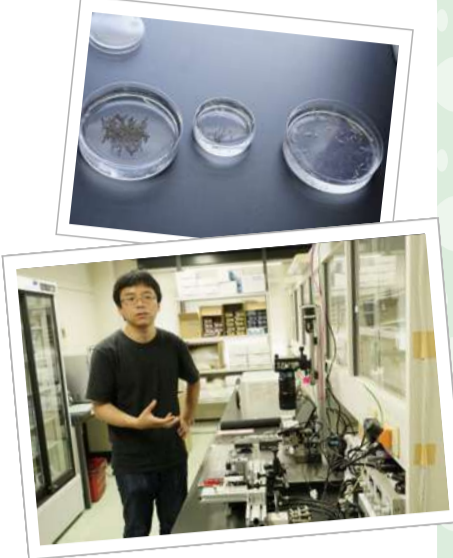
アフリカツメガエルの胚をモデルとして、発生過程で力や圧力など様々な物理量を測ったり、乱したりすることで、その生物学的意義の解明を目指しています。

現在は主に、以下の二つのテーマに取り組んでいます。

「姿勢」と「形態形成」：卵膜のなかで左右非対称に曲がった姿勢を取りながら左右非対称な構造を形づくる仕組みの解明

「運動」と「形態形成」：孵化した胚が体を左右に高速で曲げる遊泳運動と複雑な臓器の形態形成を同時並行で行う仕組みの解明

詳しくは「[進藤研ホームページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW 突撃！インタビュー

Q. なぜこの分野に進んだのですか？

完全に好奇心です（笑）。
以前から動物の発生学の物理っぽい側面に興味があって、修士博士の頃はカエルの発生初期の胚の原腸内における液圧の測定や、それらが発生中に起きるイベントの何にどう影響しているかについて研究をしていました。また、小さい頃からモノづくりが好きだったこともあり、最近は売られている機械だけでなく自分で装置を作って、今まで測られたことのない新たな物理量を測り、その生物学的な意味を考察するというスタイルで研究をしています。



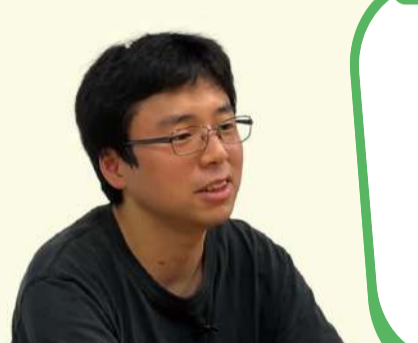
Q. 研究が上手くいかない時はどうしていますか？

僕の場合は音楽が大事な要素で、元気な時はショパンとかを弾いたりするんですけど、調子が出ない時はバッハとかを淡々と弾きます。
音楽が好きならもしかしたら少しわかってくれるかも？（笑）
あとは、調子がいい時には色々考えたことをどんどん試してみたりするのですが、調子があがらない時は、とりあえず淡々とやるべきことをします。書き物仕事にしても、やるべき実験にしても、とにかくこれだけはやっておこうということを淡々とやって、調子が上がってくるのを待ちますね。



Q. 大学生の時にやっておいてよかったことは何ですか？

自分の専門であるうがなかるうが、自分の好奇心にちょっとでも引っかかったものは何でも調べるようにしていました。元々僕は陶芸をやっていたんですけど、ある作家の思想に興味が出た時には実際に会いに行ってみたり（笑）。そういう風にして得られたものは、その場ですぐには役立つものもあるんですけど、後々自分の研究をやる上で、知識とかその分野の考え方っていうのは活用できたりする時があって、そこが自分の研究のオリジナリティになっているのかなと思いますね。



SCHEDULE とある1日のスケジュール

- 08:30 起床
- 09:30 大学到着 実験、調べもの、ディスカッション、論文執筆
- 12:00 昼食
- 13:00 実験、調べもの、ディスカッション、論文執筆
- 19:00 夕食
- 20:00 実験、調べもの、ディスカッション、論文執筆
- 24:00 大学を出る
- 25:30 就寝

先生の研究室には、カエルがたくさん！

カエルのぬいぐるみと記念撮影



MY FAVORITE 先生ってどんな人？先生のお宝を調査！



左のお茶碗は加藤先生作！
手作りの井戸茶碗



1m くらいの竹から製作！
加藤先生のお手製茶杓



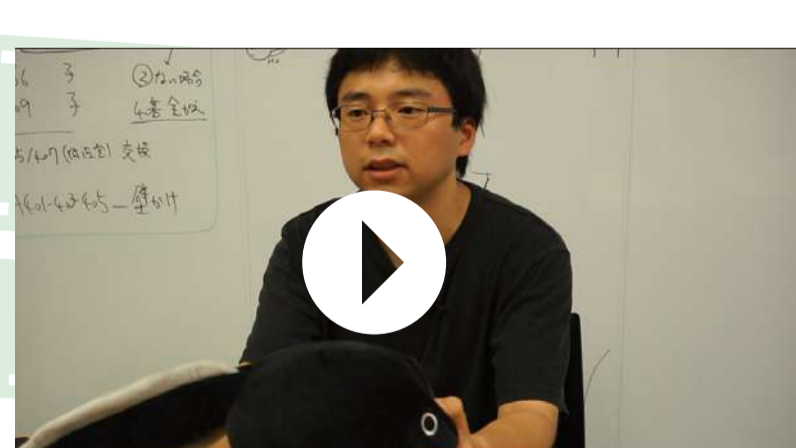
ロンドン郊外の早朝骨董市で購入♪
アンティークな置き物



MESSAGE 先生から皆さまへ

すぐに役立つ研究が、将来役に立つ保証はありませんが、好奇心に端を発し、積み上げられてきた知的遺産の上に今日の科学があることは事実です。興味に従順に探求し勤しめることが理学の醍醐味だと思います。

MOVIE インタビュー動画 YouTube にて公開中！



編集後記

先生がどのようなことを考えながら研究をされているかをよく知ることができました。また、自分で皆さんの研究器具を作り上げ、実際に使っているのがとても印象的でした！

先生のお話から研究に対する真っ直ぐな姿勢を感じて、感銘を受けました。いたるところにカエルがいて楽しい研究室だと思いました。

とてもフレンドリーに迎え入れてくださり、こちらも楽しくお話を伺うことができました。カエルやオタマジャクシのグッズが並べられていたのが印象的です。カエル愛を感じる研究室でした！



理学部物理学科 編集者 I.J



理学部生物科学科 編集者 A.R



理学部化学科 編集者 T.K

Thank you for reading...

インタビュー日 2024.08.16